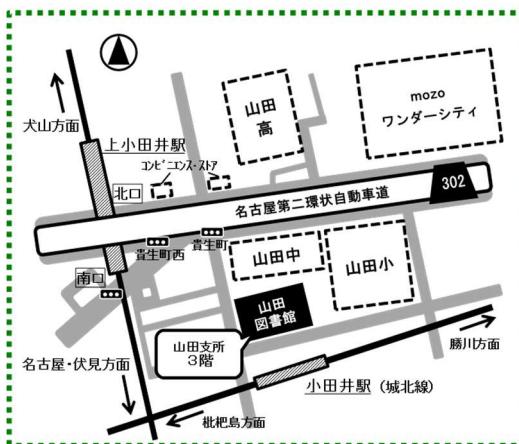
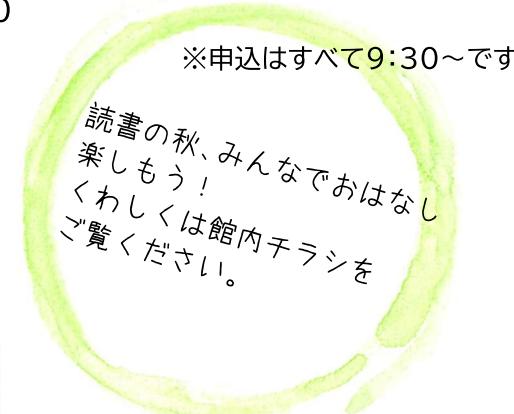


★行事案内★

11月は“図書館まつり週間”がある月！

- 11/20(土) みんなのおはなし会“よむよむ” → 申込 11/13(土)～
おはなし会と工作（4歳～小学生向け 定員8人）
①午前10:00～10:30 ②11:00～11:30
- 11/26(金) 赤ちゃんからのわらべうたとかんたん工作 → 申込 11/12(金)～
(0～未就園児と保護者向け 定員各回4組)
①午前10:30～10:55 ②午前11:10～11:35
- 11/27(土) 「ころころたまご」のおはなし会 → 申込 11/13(土)～
ちょっとスペシャルなおはなし会（幼児～小学生向け 定員8人）
午前10:30～10:50
- 11/27(土) 耳で楽しむおはなし会“きくきく” → 申込 11/13(土)～
語りによるおはなし会（5歳～大人・定員10人）
午前11:10～11:30



発行：名古屋市山田図書館

〒452-0815

名古屋市西区八筋町358-2

電話 052-503-5340

ファクシミリ 052-503-5341

古紙パルプを含む再生紙を使用しています。

山田図書館だより

2021年10月1日発行



巻頭エッセイ

本を読む理由

みなさんはなぜ本（ここでは主に物語）を読みますか。
親や先生に勧められたから、読書感想文を書くため、等々、いろいろな
理由や動機があると思います。

私は子どもの頃から長い間、自分から進んで読んだことも、読書を樂し
いと思ったこと多くありませんでした。数少ない読書の中で、読んで樂
しい物語に出会ったことがなかったのです。

その後、学校の先生に紹介された本がきっかけで、本の世界の樂しさ
を知ったのですが、物語を読む理由や樂しさについて、印象に残っている
一節をご紹介します。

出版社の編集者と清掃員の会話

編集者「（その小説が）大嫌いなのに、どうして読んでしまったのかね、
ジルシー？」

清掃員「ほかの本を読むのと理由は同じさ——次がどうなるか、知りた
いからだよ」

（中略）

編集者「すると、きみは次がどうなるか知りたくて本を読むわけだね？」

清掃員「ほかに本を読む理由なんて、ないのとちがうつけ？」

（『ガーブの世界』ジョン・アーヴィング／著、筒井正明／訳、昭和63年、新潮社）

他に難しいことはなにもいりません。私は、これが物語を読むことの原
点だと思います。

とはいっても時には、読書感想文を書くために物語を読むこともある
でしょう。この夏、中日新聞に読書感想文の書き方が紹介されていました。

図書館では過去の新聞も保存しています。来年の夏に備えたい方はご
参考ください。

中日新聞 2021年7月26日 朝刊「中日春秋」 【司書 中尾】

★展示紹介★

今回は図書館に関する本を展示します。
小説、漫画、絵本に写真集…。
意外とたくさんありますよ。



世界の不思議な図書館

アレックス・ジョンソン／著
創元社 010

本があればそこは図書館。動物が運ぶ図書館、冷蔵庫や電話ボックスの図書館。眺めるだけでも楽しい図書館たち。
(タイトルコード:1001610005547)

おさがしの本は

門井慶喜／著 光文社 小説

わずかなヒントから本を探し出す謎解きに、図書館の存廃論が絡みます。図書館はいる？いらない？
(タイトルコード:1000910035560)

併せて募集中…新情報、求ム！！

レファレンスサービスをご存じですか？

図書館にある資料などを使って、調べものや資料・情報探しのお手伝いをするサービスです。

今回の展示では、山田図書館に寄せられたレファレンスについてご紹介します。中には、未解決になっている調べものもあります。「この情報なら、この本に載ってるよ！」との情報をご提供いただいた方に、記念品を進呈いたします！！

未解決事例

八筋町の町名の由来を知りたいです。8本の道が通じていたからというのは本当ですか。



この本棚にこんな本！



本棚の間をウロウロしてみると…思いがけない面白そうな本に出会えます。今回は請求記号（ラベルの番号）388「伝説 民話 ことわざ」の本棚で見つけた、面白そうな本をご紹介します。



★ゆる妖怪カタログ

妖怪文化研究会／著 河出書房新社 3881

388と言えば、妖怪の本がたくさん並んでいますが、中でも面白そうのがこの本。味のあるゆかいな妖怪たちに会ってみたくなります。ブックデザインも良いです。
(タイトルコード:1001510041467)

★あなたが怪

大田垣晴子／著 メディアファクトリー 3881

大田垣さんが描く妖怪はどこかユーモラス。それよりこわいのは…。いるいる、妖怪みたいなこんな「ヒト」。妖怪事典でもあり、リアルにこわい「ヒト」という姿の“怪”事典でもあります。
(タイトルコード:1001210062295)



★小さいおじさん

山口敏太郎／文 東邦出版 3881

妖怪？それとも妖精？日本中で相次ぐ(?)「小さいおじさん」の目撃談と、オカルト研究家である著者による分析。その存在を信じるも信じないも、あなた次第です。
(タイトルコード:1001210011992)